2017 年度の英語学研究会（堀田ゼミ）に関する連絡と春休みの課題

2017 年 1 月 12 日
堀田 隆一

1. 2017 年度の「英語学研究会」は火曜日 5 限となる見込みです．また，その直前の火曜日 4 限には「英語学演習 III/IV」が入る予定です．新 3 年生は原則として火曜日 4 限と 5 限の 2 時限を連続して受講してください．新 4 年生については火曜日 4 限への有志の参加は歓迎します．
   (a) 火 4「英語学演習 III/IV」では，以下の英語史の古典的名著を通じて，古い英語の原文解釈や関連する論文講読を行ないます．授業に先立って，通読しておいてください．
   Baugh, Albert C., and Thomas Cable. *A History of the English Language.* 6th ed. London: Routledge, 2013.
   (b) 火 5「英語学研究会」では，以下のテキストを用い，英語史や歴史言語学のモノの見方を学びます．その他，プレゼンテーションの練習，個人研究発表，卒業論文指導なども行ないます．
   堀田 隆一　『英語の「なぜ？」に答える　はじめての英語史』　研究社，2016 年.
2. 春休み中の課題
   (a) 新 4 年生は自らの個人研究について，学期末に提出した研究計画書において自ら設定した課題をこなしてください．とりわけ読書リストに基づいた文献講読をしっかりこなしてください．新 3 年生は，下記の課題図書一覧より最低 3 冊を読み，個人研究の課題の候補をいくつか選んでおいて下さい．いずれの学年の学生も，読了した図書について，新年度 4 月の授業で紹介・発表してもらいます．

課題図書一覧

以下より，必須図書 1 冊を含め，計 3 冊以上を選び，読んでください．選択図書には簡単な注をつけておきます．

1. 必須図書
   - 鹿島 茂（著）　『勝つための論文の書き方』　文藝春秋〈文春新書〉，2003 年.
2. 選択図書
   - Algeo, John, and Thomas Pyles. *The Origins and Development of the English Language.* 5th ed. Boston: Thomson Wadsworth, 2005.　（標準的な概説書の 1 つ）
   - Bradley, Henry. *The Making of English.* London: Macmillan, 1955.　（古典的名著の 1 つで洞察に富む）
   - Bragg, Melvyn. *The Adventure of English.* New York: Arcade, 2003.　（物語口調で読みやすい英語史）

- Brinton, Laurel J. and Leslie K. Arnovick. *The English Language: A Linguistic History.* Oxford: Oxford University Press, 2006. （言語学的な視点が強く押し出されている）
- Crystal, David. *The Stories of English.* London: Penguin, 2005. （かなり長いが興味深い逸話に富む）
- Fennell, Barbara A. *A History of English: A Sociolinguistic Approach.* Maldon, MA: Blackwell, 2001. （社会言語学的な観点からの英語の通史）
- Gelderen, Elly van. *A History of the English Language.* Amsterdam, John Benjamins, 2006. （言語学・英語学の知識もある程度必要）
- Gooden, Philip. *The Story of English: How the English Language Conquered the World.* London: Quercus, 2011. （読み物として書かれた簡易な通史）
- Gramley, Stephan. *The History of English: An Introduction.* Abingdon: Routledge, 2012. （ウェブ・リソースへのリンクの多い，教科書らしい英語史）
- Jespersen, Otto. *Growth and Structure of the English Language.* 10th ed. Chicago: University of Chicago, 1982. （古典的名著の 1 つで，外面史の記述に定評がある）
- Knowles, Gerry. *A Cultural History of the English Language.* London: Arnold, 1997. （社会言語学的な視点からの英語史）
- McCrum, Robert, Willam Cran, and Robert MacNeil. *The Story of English.* 3rd rev. ed. London: Penguin, 2003. （英語の歴史とともに英語の変種についても詳しい）
- McIntyre Dan. *History of English: A Resource Book for Students.* London: Routledge, 2009. （テーマ別，習熟度別に章立てされており，学習しやすい）
- Schmitt, Norbert, and Richard Marsden. *Why Is English Like That?* Ann Arbor, Mich.: University of Michigan Press, 2006. （英語教員を目指す学生向けの英語史）
- Smith, Jeremy J. *An Historical Study of English: Function, Form and Change.* London: Routledge, 1996. （歴史英語学の理論書で，やや難易度が高い）
- Strang, Barbara M. H. *A History of English.* London: Methuen, 1970. （構造言語学に則った遡及的英語史記述の名著）
- Svartvik, Jan, and Geoffrey Leech. *English: One Tongue, Many Voices.* Basingstoke: Palgrave Macmillan, 2006. （現代英語を意識した読みやすい英語史）
- Williams, Joseph M. *Origins of the English Language: A Social and Linguistic History.* New York: Free Press, 1975. （理論言語学と社会言語学のバランスの取れた英語史）

その他，課題図書一覧には掲載していませんが，英語史の理解のために `http://user.keio.ac.jp/~rhotta/hellog/2013-04-11-1.html` の和洋図書一覧や，そこに張ったリンク先の参考文献も目を通しておくことを勧めます.